

# 施策評価シート（平成27年度実績評価）

## ◎ 施策の基本情報

総合計画中期プラン	政策No.	5-1	政策名	効率的・効果的な行政運営	政策の目指す姿	満足度の高い行政サービスを提供しています	施策主管課	秘書政策課	施策主管課長名	伊藤 昌俊	
	施策No.	3	施策名	わかりやすい市政情報の提供	施策の目指す姿	タイムリーでわかりやすい市政情報を提供しています	関係課名				
	現状と課題	・広報やインターネット、コミュニティFMなどの媒体を効果的に活用し、市政情報を発信してきましたが、さらに迅速・正確に情報が伝わるよう、若者、高齢者、都市部、山間部など、年齢層や生活形態にあわせていく必要があります。									

### 1 施策の目指す姿の実現に向けた主な取り組み実績

○	市政情報の発信 ・広報誌の発行 毎月1日(1月1日を除く)・15日に広報はなまき発行 ・コミュニティFM放送による市政情報の発信 ・はなまきケーブルテレビによる市政情報の発信 映像データの制作委託 ・有線放送の活用 東和地域での市政情報発信、放送設備の維持管理 ・SNSを活用した即時情報の発信 公式フェイスブック、ツイッターの導入
---	---

### 2 成果指標

成果指標名	成果指標設定の考え方 (なぜ、この指標で成果を測ることにしたのか)	成果指標の測定企画 (どのように実績を把握するのか)	単位	数値区分	H23	H24	H25 (基準年度)	H26	H27	H28	
					目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値

### 3 成果指標の達成状況

達成度	達成状況に関する背景・要因

#### 4 施策を構成する事務事業一覧

番号	事務事業名	担当課	施策への貢献度	
	事業内容(実績)		直結度	成果
1-1	広報活動充実事業	秘書政策課	A	C
	広報はなまき、コミュニティFM、市ホームページ、はなまきケーブルテレビのほか、フェイスブック、ツイッター等のSNS(ソーシャルネットワークサービス)を活用した市民への行政情報の提供			
1-2	広報活動充実事業	東和・地域振興課	A	B
	有線放送による市政情報の発信			

#### 5 施策を構成する事務事業の検証

<p>(①市民ニーズや市の関与の必要性が低下した事業、②投入コストのわりに成果が低い事業、③施策への貢献度の低い事業はないか)</p> <p>・メールマガジン「広報はなまき」は、イベント情報・市政のお知らせ・広報はなまきをPDF版などをメールで配信するサービスであるが、配信数206件であること、また、フェイスブックでも同様のサービスを提供していることから、H27年12月15日配信をもって廃止とした。</p> <p>(施策の目標を達成するため、さらに成果の向上を図る事業はないか)</p> <p>・市民アンケート「市役所からの情報提供がタイムリーで分かりやすい」割合は、H24 63.5%、H25 59.4%、H26 61.1%、H27 62.9%となっており、より一層、タイムリーで分かりやすい情報の提供を検討する必要がある。</p> <p>・市ホームページアクセス件数は、H24 1,450,859件、H25 1,397,157件、H26 1,783,109件、H27 2,205,069件と伸びており、H27年6月にトップページの一部改修を実施したが、さらに、より見やすく、探したい情報にアクセスできるよう、使いやすく分かりやすいホームページを目指す必要がある。</p> <p>・市民アンケート「えふえむ花巻を知らない人」の割合が、H24 14.2%、H25 11.5%、H26 11.3%、H27 10.2%と減少しているものの、なお、放送事業者と連携し、花巻のコミュニティFMの知名度を上げる必要がある。</p> <p>・H26年10月から開始した市フェイスブックについては、週平均1,934件のリーチ数となっており、掲載内容を増やすとともに、災害など即時性に対応できる特性を活かした情報発信に努める必要がある。</p> <p>(新たに取り組むべき事業はないか)</p> <p>・「広報はなまき」のスマートフォンアプリによる発信</p>
--

#### 6 施策の総合的な評価

<p>(課題)</p> <p>・ホームページについては、不断の改善を図り、より使いやすく改良する必要があるとともに、次期リニューアルに向けた検討が必要。</p> <p>・フェイスブック・ツイッターといった新たなSNSサービスに対応した即時情報の提供を心がける必要がある。</p> <p>・コミュニティFMの知名度を向上させる必要がある。</p> <p>(今後の方向性)</p> <p>・ホームページは、行政情報の発信窓口であることから、誰もが見やすく、利用しやすいホームページとなるよう内容の充実に努める。</p> <p>・フェイスブック、ツイッターによる即時情報の提供を心がけるとともに、まちの活性化のため、民間のイベントも含め多彩なコンテンツの発信に努める。</p> <p>・防災ラジオの配布、販売などを通じたコミュニティFMの周知PRに努める。</p> <p>・広報はなまきを若年層にも読んでいただくため、スマートフォンアプリによる配信サービスを行う。</p>
---